

第2回 蒲郡北地区統合小学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和7年2月25日（火）15時～16時30分
- 場 所 蒲郡西部小学校2階会議室
- 参加者 開校準備委員会委員
大須賀繁弥、奥村那奈、足立泰敏、永井久嗣、河井則夫、尾崎友美、
山本なおみ、原田あい、河井善史、岡田隆志、藤井克枝、竹尾公孝、
近藤愛子
事務局
三浦次七郎、彦坂繁、高須伸光、稲吉育美、坂本和浩、井本亮裕

1 あいさつ（大須賀委員長）

先週、西部と北部の6年生が交流した。上ノ郷ツアーを西部小の6年生が企画し、北部小の子が参加させてもらい喜んでいました。ツアーだけでなく、土嚢のリレーなどのレクリエーションを交えるなど工夫が凝らされていた。西部小の良さを北部小の子が感じられてよかった。子どもも交流を始めているので、大人も真摯な意見交換をお願いしたい。

2 協議

（1）開校準備委員会の議事要旨の確認について（事務局）

第1回の議事要旨について説明。HPに準備委員会の内容と議事要旨を公開していく。公開前に承認をいただきたい。

【委員からの意見・質問】

【委員】 HPはいつまで掲載するのか。

【事務局】 開校までは必ず掲載。順調な開校が行われれば、その後削除していく。通信や校名募集なども掲載していく予定である。

【委員】 膨大な量になる。

【事務局】 簡潔にまとめていく。

【決議】

全会一致により承認

（2）校名の募集要項について（事務局）

結論としては、校名決定を令和7年12月とし、令和7年度の1学期間は校名投票に向けて北部小と西部小がお互いを理解し合うような交流を行う。先月1月に移転方法と時期を児童生徒に説明した。その時の児童生徒の声と第1回の準備委委員会での協議内容を参考に事務局で協議をしてこのような提案となった。

【委員からの意見・質問】

【委員】 賛成である。住民の意見や考え希望も含めていくのが望ましい。児童生徒の声の中で、「お互いのいいところを新しい学校に取り入れたい」という声が

あった。それを部会（教職員）の中で具体化していけるとよい。中学生の中に「統合に反対だったけど未来のために受け入れてよい方向に考えたい」という意見があった。校名についても未来に向かうようなものがないと思う。

【委員】 子どもたちの言葉に心を打つところもある。この2年、いろいろなことが決まっていっても、新しい学校について子どもたちに問いかけていく必要がある。これを現場の先生にも広げてほしい。現場の先生の声を聴く場があってもよい。

【委員】 一番心配なのは、新しくなることを「嫌だ」と感じている子への配慮である。北部の子で名前を変えなくてもいいという意見はないのか。

【事務局】 地域説明会では、北西部両方の意見を伺った。移転の方法をアンケートで聞き、新しい学校としていきたいという意見が多かった。子どもたちにも、移転の方法について意見を聞いている。もちろん、子どもたち全員が新しくなることに賛成しているわけではない。しかし、1月に説明をしたときに、前向きにとらえる子が増えてきたように思う。統合という大きな変化に不安を感じる子どもへの心のケアをしながら、新しいスタートを切りたいと考えている。

【委員】 子どもは周りの大人がマイナス思考で接するとそういう思考になる。周りの大人が雰囲気づくりを考えていく必要がある。

【委員】 神ノ郷地区の問題をはっきりしていきたい。向山が中央小に行くことについて、中央小は校名も校歌も変わらない。一方は新しくなり、もう一方は変わらない。そのあたりのことも考えてほしい。

【事務局】 中央小に通学する児童に対しても心のケアができるように、中央小学校との連携も行っていきたい。

【委員】 応募は一人一点だが、どう把握するのか。

【事務局】 応募用紙に名前を記入してもらうことで把握していきたい。

【委員】 子どもたちへは応募するように先生方から呼びかけるのか。

【委員長】 家で話し合ってもらうのがいい。新しい小学校へのイメージを膨らませるような活動を学校ではしていきたい。北部小では9月と1月に3年生と4年生に説明をしている。子どもたちは新しい学校というイメージが強い。

【委員】 応募について自由応募だが、学校の授業の一環で考える形ではなく、家で考えての応募になるのか。

【委員】 授業の中で子どもたちがお互いを知ることで、校名を考えたくなる過程を大事にしていきたい。

【委員】 学校で学ぶ意義みたいなことを考える授業をやるのがよいのではないか。

【委員】 中央小へ行く子が校名案を考えるにあたり、寂しい思いをしないようにしてほしい。

【委員】 スケジュールを見ると、交流が7月までとなっているが、校名としての区切りでよいか。

【事務局】 あくまでも校名に関するスケジュールである。交流は続いていく。

【決議】

全会一致により承認

(3) 通学区域について（事務局）

説明会やアンケート、保護者への家庭訪問によって通学区域を確認した結果、向山と門前地区の新幹線より南は中央小学区、大成1は新しい学校の通学区域とする。この内容を3月1日に地域説明会で説明をしていく。

【委員からの意見・質問】

【委員】 大成を中央から新しい学校へ変えた理由は何か。

【事務局】 学校に通っている方の地域が大成1地区の北側に集まっており、未就学児・学齢期の保護者が新しい学校の方が近いと感じていること。すでに、西部小学区として過ごしてきたコミュニティが確立しており、そのコミュニティを基盤として統合したほうがよいと考える方が多かったこと。

【委員】 どこかで学区の線引きはしないとイケない。安全面についてはどうか。

【事務局】 交通誘導員をお願いしたり、地域の見守り活動も広げたりしていきたいと考える。

(4) 第4回地域説明会について（事務局）

3月27日中部中体育館にて北西部合同で実施。チラシを本日全戸配布。

【委員からの意見・質問】

特になし

3 その他（事務局）

来年度の開校準備委員会について、実施回数は4回を予定。都合のつかない場合は事前に連絡をお願いしたい。

次回は令和7年5月9日（金）14：00～北部小学校多目的室で行う。